

# 民主主義再考 — 原理的に考える 目次

解題 01

## 第1日目 自由と平等から民主主義を考える 02

はじめに 02

三回の講座のあらすじと、今日の問題提起・課題 03

その一、「普通選挙は正しいか？」 04

その二、「女と男は平等か？」 06

その三、「奴隷制は間違っているか？」 07

この主張にどう応えるか——受講者との問答 10

事実と規範の区別、規範としての自由論へ 15

自由で平等な人間による自己統治へ 19

人は本来自由なのか？ 自立できるか？ 21

おわりに 24

## 第2日目 ナショナリズムから民主主義を考える 27

はじめに 27

あなたはナショナリストか、愛国主義者か 28

日本語は守られるべき？——日本語の帰趨 31

この二つの事例から 32

ナショナリズム・愛国心(ペトリオティズム)とは何か 33

国歌は動員の典型的シンボル 35

宗教と国家との統一がもつとも強力 36

古くからある「愛国心」をめぐる言説 38

強力なアイデンティティ形成機能 39

国家・近代国家 40

nationをめぐる類型・整理 45

ナショナリズムの将来 48

おわりに——受講者とのいくつかの問答 50

## 第3日目 市民社会から民主主義を考える 60

はじめに 60

なぜ市民社会を論ずるか 60

「答えのない問い」の重要性 61

いま活動していることの意味を考える 63

ボランティアは本当に必要か？ 64

市民社会の概念をめぐる——三段階把握の整理 65

現代市民社会論へ 69

暴力と貨幣による支配の排除 70

現代市民社会論の展開 71

日本のNPOセクターの特徴 76

強い官の統治 78

NPOセクターの二つの「鬼門」 79

むすびに代えて 81

おわりに——受講者とのいくつかの問答 82

あとがき 90